

平成29年9月吉日

各所属長 様

津卓球協会
会長 松生 幸一
(公印省略)

第3回 百五銀行杯争奪卓球大会 (全国オープン)

- 1 期 日 平成29年12月17日(日) 午前8時20分～
- 2 会 場 サオリーナ (津市北河路町19-1)
- 3 主 催 津卓球協会
- 4 協 賛 株式会社百五銀行
- 5 後 援 日本卓球株式会社
- 6 競技種目 ※全て団体戦です。
- | | |
|-----------------|------------------|
| ①中学生男子の部 | ⑦男子ベテランの部 (50歳～) |
| ②中学生女子の部 | ⑧女子ベテランの部 (50歳～) |
| ③男子一般の部 | ⑨男子シルバーの部 (65歳～) |
| ④女子一般の部 | ⑩女子シルバーの部 (65歳～) |
| ⑤男子シニアの部 (35歳～) | ⑪男子ラージボールの部 |
| ⑥女子シニアの部 (35歳～) | ⑫女子ラージボールの部 |

※年代別の年齢は平成30年4月1日までに該当種目の年齢に達する者

- 7 試合形式 (1) 試合方式
- 【①・②】 <中学生の部>
- ・1番ダブルス 2番～5番 シングルス
 - ・シングルスとダブルスは兼ねることはできない。
 - ・選手登録は6～10名で構成する。
 - ・3点先取方式とする。
- (ただし、どちらかが初戦の場合5番手まで試合を進める)
- 【③～⑫】 <一般～年代別・ラージボール>
- ・1番. ダブルス 2番. シングルス 3番. シングルス
 - ・ダブルス出場の選手うち1名は3番シングルスに出ることができる。
 - (2番・3番の選手で1番のダブルスは組むことはできない)
 - ・選手登録は3～4名で構成する。
 - ・2点先取方式とする。
- (2)・予選リーグ(3チーム程度)の後、決勝トーナメントを行う。
- ・中学生の部は、すべてトーナメント戦とする。
- 8 出場条件 (1) 中学校の部は、津市内中学校に限る。また、中学校単位とする。
- (但し、小学生は三重県オープンでクラブチーム等で参加可。)
- (2) クラブチームの中学生の部への参加は1チームのみとする。

- (3) 中学校の部以外の種目は全国オープンとし、混成でもチーム構成ができる。
- (4) 中学校の部については選手が監督を兼ねることはできない。
(中学校の部以外の種目は、選手が監督を兼ねることができる。)
- (5) 中学の部のエントリーは、各校3チームまで登録可とする。

9 競技ルール

- (1) 現行の日本卓球ルールによる。但し、タイムアウト制は適用しない。
- (2) ラージボールは11本3ゲームスマッチ、ラージボール以外は11本5ゲームスマッチとする。
- (3) 本大会の試合球はすべてプラスチックボール（ニッタク）とする。

10 参加料

- (1) 1チーム 一般の部以上 3,000円
 中学校の部 2,000円
- (2) 参加料については、大会当日に会場にて徴収します。

11 申込方法

津卓球協会HP（アドレス <http://tsutta.jp/>）から申し込んで下さい。
※大会当日の申し込みは受け付けません。

12 申込期日

平成29年10月30日（月）～平成29年11月15日（水）

13 その他

- (1) 競技場内外での事故については一切責任を負えませんので、充分にご注意下さい。
- (2) 参加種目は1人1種目とします。
- (3) 参加チーム数によっては、種目を統合する場合があります。
- (4) 当日、棄権がある場合は、速やかに本部席に届け出て下さい。
- (5) 申込締切以後、棄権されても参加料は納入していただきます。
- (6) 参加料はアリーナ内に入る前に受付で必ずお支払の上ご入場下さい。

14 おしらせ

- (1)
当日は、AM9：00～元ロンドンオリンピック団体銀メダリスト
平野早矢香氏をスペシャルゲストに迎えて、講演タイトル
「昨日の自分より一歩前へ」～卓球から学んだ挑戦することの大切さ～
の記念講演会を予定しております。また、その後、三重県津市出身で
ジュニアナショナルチーム代表及び現在山口県の野田学園高校所属
戸上隼輔選手もゲストに迎え、模範演技を行って頂く事となりました。
その為、試合開始をAM10：30スタート（予定）となっております。
試合終了時間が、例年より遅くなる場合がありますことをご理解の上
お申込み願います。

- (2)
参加チーム数が多い場合、予選リーグのみラージボール以外でも
11本3ゲームスマッチに変更する場合があります。